



TITLE:

米價暴動ノ社會的意義

AUTHOR(S):

戸田, 海市

CITATION:

戸田, 海市. 米價暴動ノ社會的意義. 經濟論叢 1918, 7(4): 547-560

ISSUE DATE:

1918-10

URL:

<https://doi.org/10.14989/127440>

RIGHT:

米價暴動ノ社會的意義

戸田海市

一下層階級ノ自信ト其缺點

今回ノ暴動ハ政治上倫理上經濟上ノ種々ノ點ヨリ觀察批判セラレツツアルガ、此暴動カ米價暴騰ヲ機會トシテ下層階級ノ富者ニ對スル反抗心ノ爆發シタルモノテアルコト、即チ社會的運動又ハ社會的動搖タルノ性質ヲ有スルコトハ一般認メラルル所テアル。故ニ此點ヨリ冷靜ニ其特色ヲ研究スルコトハ、我國ノ社會問題ノ前途ヲ考ヘルニ付テ必要テアル。暴動ニ付テ此種ノ研究ヲ行フニハ詳細ナル事實ノ調査ヲ必要トスル。其實ノ幾分、今後暴動事件ニ關スル裁判上ノ取調ニ由テ明カニセラルルコトデアラウガ、茲ニハ概括的ニ此暴動ノ特色ト考ヘラルル二三ノ點ニ付テ臆見ヲ述ヘル。

從來民衆カ其不平ヲ訴フルカ爲メ戶外ニ於テ示威の性質ヲ帶フル集合ヲ爲シ、之ヲ解散セシメントスル官權ト衝突シタ場合ハ少ナクナカツタガ、其示威ノ手段トシテ公私財産ヲ破壞スル所ノ暴動ハ日露戰爭ヲ終結セル平和條約ノ締結ノ際ニ大規模ニ行ハレ、次テ憲政擁護ノ燒打事件カ起リ、最後ニ今回ノ米價暴動ヲ見ルニ至ツタガ、今回ノ暴動ハ從來ノモノニ比シテ頗フル性質ヲ異

ニセルゴトハ何人モ看過シ得サル所テアル。從來ノ暴動ハ何レモ政治上ノ不平ヲ訴フル爲メニ起リ、其群衆ヲ率ユル者ハ智識階級ニ屬スル者就中壯士ヲアリ、又群衆ノ少ナカラサル部分ハ中層階級ヨリ成リ、下層民ハ好奇心ニ驅ラレテ之ニ附和隨行シ、所謂野次馬トシテ消極的態度ヲ探ルニ過キナカツタ、又從來ハ群衆ノ暴行ヲ加フル目的物モ主ニ警察及政府擁護ノ地位ニ立ツ新聞社ノ如キモノテアツタ。然ルニ今回ノ暴動ハ分配ノ不公平ニ對スル下層民ノ不遜カ米價暴騰ヲ機會トシテ爆發シタモノテアツテ、暴動ヲ率ユル者ハ下層民自身テアリ、中層階級者ハ群衆ノ中ノ僅カナル部分ヲ爲シテ雷同附和シタニ過キナイ。又其暴行ノ目的物モ米屋ノ外一般ニ資本の勢力ヲ代表スルカ如キ建築物ニ及ンタ。今回ノ暴動ハ最初ニハ純粹ノ米價暴動ト見ヘタガ、其勢ノ各地ニ傳播スルニ從ツテ資本ノ勢力ニ對スル破壊運動ノ色彩カ濃厚トナルニ至ツタ。

從來下層民ハ公然警察ニ反抗シ又ハ軍隊ノ威力ヲ冒シテ暴動ヲ爲スカ如キ大膽ナ自信ヲ有セス、從ツテ暴動ノ際ニハ中層階級ノ後ニ隨ヒ、僅カニ野次馬トシテ平素ノ不平ヲ漏ラスノ機會ヲ得ントスルニ過キナカツタガ、今回ノ暴動ニ於ケル下層民ノ大膽ナル行動ハ其自信力ノ頗フル強マツテ來タコトヲ示スモノテアル。一般ニ社會的運動カ中層階級者ニ由テ指導セラレ、下層民ハ消極的ニ之ニ隨從スルニ過キサレ間ハ、其運動カ穩健テアルト同時ニ其效果モ薄弱テアリ、少クトモ適切顯著テナイ、眞ニ有力ナル社會的運動ハ下層民自身ノ運動テアリ、從ツテ其運動カ下層民ノ

爲メニ行ハルルノミナラス、下層民自身ニ由テ行ハレル場合ニ現ハレ來ルノテアル。今回ノ暴動ニ由リ下層民ノ自信ノ強マレルコトカ明カトナツタスレハ、吾人ハ今後次第ニ有力ナル社會的運動ノ起ルコトヲ期待セネハナラヌ。歐洲戰爭ノ初マツテ以來、工業ノ隆盛ニ伴フテ同盟罷業カ屢起リ、且ツ其ノ多クハ成功スルニ至ツタガ、此同盟罷業ナルモノハ勞働者カ資本的權威ニ對シ公然ト力試シヲ爲スコトアリ、從ツテ勞働者ノ自信力ノ強マレル結果トシテ現ハルルト同時ニ、更ニ彼等ノ自信力ヲ強ムルノ原因トナルモノテアル。是レ勞働運動ヲ率ユル者カ勞働者ノ自信ヲ強メテ其戰鬪的勇氣ヲ鼓舞スルカ爲メ、第三者ヨリ見テハ往々不要不利ト考ヘラルル場合ニモ同盟罷業ヲ起サシムルコトニ努ムル所以テアル。戰爭以來ノ同盟罷業ノ續起ハ大ニ我下層民ノ資本的勢力ニ對スル自信ヲ強メタニ相違フイ。特ニ此等ノ同盟罷業ハ從來ノ如ク勞働者ト企業者又ハ之ヲ代表スル役員階級トノ感情ノ衝突ニ原因スルモノテナク、主トシテ露骨ナル勞銀問題ニ付テ起ツタモノテアリ、人ヲシテ我國ノ同盟罷業ノ頗フル現代的トナレルコトヲ感セシメヌノテアル。

曾テ物價騰落ノ順序ヲ研究スルニ方ツテ述ヘタ如ク、我國ノ産業ハ其發達ノ尙ホ幼稚ナルカ爲メニ勞働ヲ使用スル割合カ機械其他ノ固定資本ノ使用ニ比シテ甚タ多ク、之カ爲メ經濟界カ好景氣トナツテ生産ノ擴張ヲ爲サントスルニ至レハ、勞働ニ對スル需用カ殆ント原料ニ對スル需用ト同

様ニ急激ノ増加ヲ示シ、其結果我國ノ勞働者ノ間ニ自衛的組織ノ發達セサルニ係ハラス、好景氣ノ際ニハ割合ニ早ク勞銀ノ騰貴ヲ生スル傾カアル。固ヨリ我勞働者ハ一方ニ鞏固ナル團結ノ存在スル歐米ト異ツテ、不景氣ノ際ニ勞銀ノ下落スルコトヲ防クノ實力カナイカラ、經濟界ノ一消一長ニ伴フテ不安定ノ生活ヲ爲サネハナラス。特ニ我國ノ産業ハ上述ノ如ク流動資本ヲ多ク使用セルカ爲メ、産業カ不景氣トナレハ企業者ハ容易ニ生産ヲ收縮シテ損失ヲ免レ得ルニ反シ、勞働者ハ忽チ失業シテ不景氣ノ苦痛ヲ最先ニ受ケネハナラス。歐米ノ如ク産業ニ固定資本ヲ多ク使用シテ居レハ、産業カ不景氣トナルモ企業者ハ巨額ノ固定資本ヲ休止セシムルノ損失ヲ免ルル爲メニ生産ヲ繼續シ、從ツテ勞働者ノ解雇失業モ割合ニ少ナイノテアル。此點ヨリ考ヘレハ今日我國ノ輿論カ物價騰貴ノ防止又ハ其引下ニ熱中シ、之カ爲メニハ金融ノ急激ナル緊縮又ハ大々的輸出禁止ノ如キ方法ニ由リ事業界ノ不振ヲ來タスモ厭フヘキニアラスト云フカ如キ議論ノ有力トナラントシツアルコトハ、定額ノ俸給ニ生活スルコト多キ智識階級ノ立場ヨリ見テ大ニ歡迎スヘキテアルトシテモ、勞働者階級ノ立場ヨリ見テハ餘程慎重ノ吟味ヲ要スルコトト信スル。但シ斯ク云ヘハトテ從來ノ如ク物價ハ騰貴シテ停止スル所ヲ知ラス、一般事業界ハ日ニ投機的性質ヲ帶ヒ來リ、人ヲシテ前途不安ノ念ヲ禁セサラシムルカ如キ狀態ヲ以テ、下層民ニ有利ナリト斷定スルニアラサルハ勿論テアル。

戰爭以來我國ノ商工業ハ驚クヘキ膨脹ヲ爲シタタメニ勞働ニ對スル需用カ激增シ、其結果企業者ハ一般ニ原料供給難ヲ嘆スルト同様ニ勞働供給難ニ苦シムノ狀ヲ呈シ、勞銀ノ増加モ生活必要品ノ騰貴以上ニ達スルノ勢トナツタ。最モ政府又ハ商業會議所等ノ公式ノ統計ニ由レハ、物價水準ガ戰前ニ比シテ二倍餘ニ上レルニ反シ、勞銀ノ騰貴ハ之ニ及ハスシテ五六割ノ範圍ニ止マルル場合カ少ナクナイ。併シ實際ニハ從來失業セシ者モ就業シ、一ヶ月二十日以内ノ仕事ヲ見出スニ止マツタ者ヤ、一日數時間ノ仕事ヲ得ルニ過キサリシ者モ、今日ハ全月全日ノ就業ヲ爲スコトカ容易トナリ、種々ノ戰時手當ヤ時間延長ニ對スル特別増給モ汎ク行ハレ、之カ爲メ米價カ三十圓ヲ超ヘテ一般物價騰貴以上ノ騰貴ヲ示スニ至ル迄ハ、勞働者階級一般ノ實際ノ收入ハ物價騰貴ノ爲メニ減少スルコトナク、却ツテ相當ノ増加ヲ爲シテ其生活程度ハ向上シツツアツタヤウテアル。

此ノ如ク勞働ニ對スル需用カ高マルトキハ、勞働者カ資本家ニ對シテ大ナル強味ヲ感シ、勞銀ノ引上其他種々ノ要求ヲ提出スルノミナラス、彼等カ平素資本家ニ對スルト同様ノ尊敬ヲ拂ヒツツアツタ智識階級ニ對シテモ大ニ自信ヲ強メ、特ニ下級役員即チ智識階級ノ多數者ノ生活難ニ陷ルヲ見テ之ヲ憫ムカ如キ態度ヲ採ルニ至ツタ。越中滑川ノ妻君連ノ暴動ニ於テ郡役所ノ役人ノ解散ヲ説論スルニ對シ、妻君連カ「青ニ才默レ」ノ一喝ヲ以テ之ヲ擊退シタト云フコトハ汎ク傳ヘ

ラルル所テアルガ、實際今日下級ノ官吏會社員ノ如キ勞働者階級ノ眼ニハ憫ムヘキ營養不良ノ青ニ才位イニ映スルノ有様トナラントシツツアル。此ノ如ク下層民ノ上中層階級ニ對スル自信ノ強マツタコトカ今回ノ暴動ヲ起スニ至ツタ重大ノ原因ヲナクテハナラヌ。勿論三十圓ノ米價カ僅々一二週ノ間ニ五十圓ヲ突破スルカ如キ騰貴ヲ示スニ於テハ彼等ノ生活カ非常ノ窮迫ニ陥ルコトハ多言ヲ要セヌガ、併シ物價平準カ今日ノ二分ノ一以内ニアツテ經濟界カ特ニ好景氣テナク、從ツテ勞働者ノ收入モ特ニ大ナラサリシ大正元年ニ於テ、米價カ一時二十五圓ヲ突破シ、即チ今回ノ最高價ノ二分ノ一ニ達セシ時代ノ下層民ノ生活ハ、必シモ今日ヨリ容易テナカツタテアラウガ、當時ハ之カ爲メニ暴動ヲ生スルニ至ラナカツタコトヤ、今回ノ暴動カ事業發展ノ著シキニ伴フテ下層民ノ經濟上ノ地位モ高マリ、從ツテ米價騰貴ノ苦痛ニ堪ユルノ力モ大ナルヘキ關西地方ニ強ク且ツ汎ク行ハレタニ反シテ關東ニ少ナカツタ事實ヤ、公共團體又ハ雇主ノ手ニ由ラ米ノ廉價供給ノ行ハルル所ニ於テモ尙ホ暴動ノ起レル事實ヲ看過シテハナラヌ

今回ノ暴動ニ關スル世間普通ノ説明ヲ見ルニ、物價ノ騰貴就中米價暴騰ニ由ル下層民ノ生活難カ彼等ヲ驅ツテ暴動セシメタヤウテアル。米價暴騰カ彼等ノ生活ニ甚大ノ苦痛ヲ與フルハ多言ヲ要シナイガ、併シ一般ニ下層民ノ現狀ニ對スル反抗運動ハ其經濟的地位ノ高マルニ從フテ益盛ニ行ハレルモノテアツテ、彼等ニ一ノ權利ヲ與フルコトハ更ニ彼等ヲシテ他ノ權利ヲ要求セシムル

ノ結果ヲ生スルノ勢アルベシ。爭フヘカラサル事實テアル、彼等ノ向上運動ハ客觀的ノ貧困事實ヨリモ主觀的ニ彼等カ貧困ヲ感スルノ強サニ從フテ發展スルト云フヘキテアルガ、現代文明國ニ於ケルカ如ク貧富ノ懸隔カ日ニ益大トナリ、即チ下層民ノ經濟的地位カ富者ノ夫レニ比シテ相對的ニ益低下スルノ事實カ存在スル限リハ、假令ヘ下層民ノ地位ヲ絶對的ニ向上セシムルモ、彼等ハ之ニ満足シテ反抗運動ヲ差控ヘルモノテハナイ。下層民ノ向上運動ヲ説明スルニ方リ、富者ハ益富ムニ反シテ貧者ハ益貧トナルト云フカ如キ語句ヲ用ユルコトガ、下層民ニ對スル世間ノ同情ヲ惹クニ好都合トセラルルヲ常トスルモ、此ノ如キ語句ハ事實ノ説明トシテ不適當ナルノミナラス、現代文明國ニ於ケル社會運動ヲ批判スルニハ最早ヤ此ノ如キ語句ヲ必要トシナイノテアル。吾人カ今回ノ暴動ヲ觀察スルニ方ツテモ單ニ物價騰貴就中米價騰貴ニ由ル下層民ノ生活難ノ方面ノミヨリ之ヲ理解セントスルコトハ誤リテアル。米價暴動ハ既ニ幕府時代ニモ屢行ハレ、其暴動ノ狀態モ今回ノ夫レニ類スル點カ多クツタヤウテアルカ、併シ新時代ノ現象ニハ新シキ意義カアル。否ナ一步ヲ進メテ考ヘレハ徳川氏末期ニ於テ米價暴動ノ屢起リシコトハ、當時ノ階級制度ヲ打破シテ四民平等ノ新時代ヲ出現セントスル社會的運動ノ一部テアツタト解スルコトモ出來ルテアラウ。

此ノ如ク今回ノ暴動ハ下層階級ノ自信カ強マリ、所謂下剋上ノ氣風ノ生シタコトカ大原因トナツ

テ居ルガ、一面ニハ此暴動ノ爲メニ官民ノ米價調節ノ運動ヤ公益事業ニ對スル努力カ俄カニ有效ニ行ハルルニ至ツタコトハ、下層民ヲシテ益其自信ヲ強メシメタト云ヒ得ルヤウテアル。併シ乍ラ之ヲ直チニ今後ノ社會的運動カ順調ニ發展スヘシト斷定スルコトヲ躊躇セサルヲ得ナイ。戰爭以來下層民ノ經濟上ノ地位カ高マリ又其自信力カ之ニ伴フテ強マツタトハ云ヘ、其勢力ヲ健實ニ永續的ニ發達セシムルニ必要ナル施設、就中勞働組合ノ組織ハ其割合ニ振ハナイヤウテアル。故ニ戰後不幸ニシテ經濟界カ甚シキ不景氣ニ陥ルニ至レハ、下層民カ今日偶然ニ占メ得タル地位ハ再ヒ急激ノ退歩ヲ爲スノ危險カアル。彼等ノ勢力ノ増進カ合理的ノ方法ニ於テ現ハレス、暴動ノ形ニ於テ示サレタコトハ甚タ悲ムヘキテアル。特ニ今回ノ暴動ニ付テ吾人ニ甚シキ悲痛ヲ感セシムルコトハ、其暴動カ獨リ示威的ノ破壞ニ止マラスシテ遂ニ掠奪ニ墮落セル場合ヲ生シ、恰モ支那ニ於テ屢々見ル所ノ苦力土匪ノ暴動ニ類スルノ醜態ヲ演スルニ至ツタコトテアル。暴動カ此ノ如ク往々掠奪ニ墮落シタコトハ、即チ下層民ノ自信力大ニ強マレルモ、末タ彼等カ眞ニ文明人トシテ覺醒スルニ至ラサルコトヲ示スモノテアルガ、之ト同時ニ此掠奪ハ下層民ノ道義心ニ大ナル傷害ヲ加ヘ、從ツテ其自信力ヲ毀損シタコトモ爭ハレナイ。凡テ有力ナル社會運動ハ下層階級ノ正義ノ觀念ヲ基本トスルモノテアツテ、決シテ單純ナル力ノ自覺ヨリ生スルモノテナイ。否ナ力ノ自覺其物ハ畢竟正義ノ觀念ニ由テ支持セラレルノテアル。歐米ノ下層階級カ祖國ト正義トニ對

シテ生命ヲ捧クルコトニ由テ其道德的勇氣ヲ非常ニ強メツツアルニ際シ、我カ下層民ノ一部カ掠奪ヲ行フテ自己ヲ耻シメツツアルコトハ悲慘事テアル。我國ノ社會運動ノ前途ハ必シモ樂觀ヲ許ルサナイ

二 成金跋扈及一般上中層階級ノ腐敗

暴動ト云フコトハ最も低級ノ示威運動テアツテ、之ヲ運動ノ一種ト稱スルコトカ既ニ不穩當ノ感ヲ生セシメルノテアルカ、我カ下層民ヲシテ暴動ヲ起スマテニ之ヲ激セシメタ原因ハ、單ニ分配ノ不公平ナル事實ノ存在スルニ止マラス、戰爭以來成金ノ跋扈甚シキノ事實ニ在ルコトハ世人ノ一般ニ認メル所テアツテ、關西地方ニ暴動ノ多ク起ツタコトモ此地方ニ於テ特ニ成金ノ跋扈ノ甚シキ事實ト關係カアルヤウテアル。世ニ成金ト稱セラルル者ノ中ニハ苦心慘憺タル經營ニ對シテ當然ノ報酬ヲ得タルニ過キサル者モナイテハナイガ、一般ニ彼等ハ偶然利得者テアル。此ノ如キ偶然利得者ノ輩出スルコトホド人ヲシテ分配ノ不公平ヲ強ク感セシムルモノハナイ。是レ戰時利得稅カ今日單ニ財政ノ見地ヨリ重要視セラルルノミナラス、社會政策上ヨリ一層重要視セラレル所以ナル。而シテ成金ノ發生カ人ヲシテ分配ノ不公平ヲ強ク感セシムルハ、獨リ其利得カ偶然的ナルカ爲メテナク、彼等ノ多クガ其利得ヲ消費スルニ不當ノ方法ヲ採ル爲メテアル。成金カ

其日常ノ業務ヲ行フニ際シテ偶然ノ巨利ヲ占ムルコトハ、世人一般ノ眼ニ映セサル無形ノ事柄ナル。彼等カ其ノ成金タルコトヲ有形的ニ世人ニ示シ、所謂成金跋扈ナル感ヲ世人ニ生セシメルノハ、主トシテ、其生活振リノ不當ナルコトテアル。今日著名ノ成金ノ中ニハ簡易清潔ノ生活ヲ營ンテ其餘力ヲ公益事業ト使用人ノ待遇改善トニ費シ、在來ノ大富豪ニ比シテ富者ノ社會的責任ヲ感スルコト大ナル者モナイテハナイガ、大多數ノ成金就中名モ知レサル一般ノ中小成金ニ至ツテハ、意外ノ幸運ノ爲メニ精神ノ平衡ヲ失ヒ、其生活振リカ往々人類ニ對スル侮辱ト挑戰トヲ意味スル如キ例モ少ナクナカツタ。此ノ如キ侮辱ト挑戰トカ公然許サル社會ニ於テハ、一面ニ幼稚ナル下層民ノ間ニ暴ヲ以テ暴ニ代ユルノ念ヲ生セシメ、遂ニ掠奪ノ如キ不祥事ヲ見ルニ至ルハ多ク怪ムヲ要シナイコトテアラウ。富ハ正當ニ分配セラルルコトヲ要スルト同時ニ、正當ニ消費セラルルコトヲ要スルモノテアルガ、人ヲシテ偶然利得ヲ得セシムルコトハ、應テ之ヲ不當ニ消費セシムルコトトナルノテアル

成金跋扈カ今回ノ暴動ヲ激成シタ一原因テアルコトヲ認ムルト同時ニ、吾々ハ一般ノ上中層階級ノ近來ノ生活振リモ決シテ下層民ニ對シテ模範的テナク、寧ロ反對ニ惡例ヲ示シツツアツタコトヲ忘レテハナラス。富豪カ脱税シ、會社重役カ私腹ヲ肥ヤシ、其他一般ニ實業道德ノ紊亂セルコトハ、有産者階級ノ腐敗ヲ示スモノテアル。又近年各地ニ於テ續々ト議員ヤ官公吏ノ收賄事件カ

起リ、會社員ノ不正事件ノ起ルコトハ、一般智識階級ノ廢頽ヲ示スモノテアル。此等ノ事タルヤ我國ノ前途ニ關シ人ヲシテ下層民ノ暴動掠奪ヨリモ遙カニ多クノ不安ヲ感セシメルモノテアル。幼者ハ生長スルニ從フテ社會的トナルト同時ニ反抗心モ強マル者テアルガ、此場合ニ父兄其他ノ周圍ノ長者カ腐敗シテ居レハ、小年ノ反抗心ハ劣惡ナル反社會的ノモノトナツテ、其一身ヲ過ルト同時ニ社會ヲ害スルニ至ルノテアルガ、下層民ノ向上發展ノ徑路モ之ニ類似スル點カ多イ。吾等ハ今回ノ暴動ニ關シ下層民ノ粗野ト政府ノ失政ト成金ノ跋扈トヲ責ムルヲ以テ足レリトシナイ。上中層階級カ各自大ニ反省セザハナラス。從來我國ニ於テ何等タノ社會的缺陷カ暴露シテ社會一般ノ覺醒ヲ促カス機會ノ生シタ場合ニ、吾々ハ互ニ責任ヲ他ニ嫁セントシ、特ニ政府ヲ最大又ハ只一ノ責任者ナリト結論シテ、各自ニ反省スルコトヲ避ケル傾カアル。是レ實ニ我社會ノ健全ノ發達ヲ妨ケル最大ノ病根テアル。而シテ下層民ノ向上運動ヲシテ其方向ヲ誤ラサラシメントスレハ、有産者ヤ智識階級カ單ニ財力智力ノ所有者タルニ止マラス、其有無形ノ力ヲ道德的ニ行使シテ社會ヲ指導スルノ價值ヲ有スル者タルコトヲ示サネハナラス。露西亞ニ於テ上中層階級カ貧困且ツ無智ナル民衆ニ對シ非常ニ大ナル實力ヲ有スルカ如キ外觀ヲ呈シタルニ係ハラス、此等ノ支配者階級カ道德上甚シク腐敗セルカ爲メ如何ニモ脆ク其社會組織ノ瓦壞ヲ來タシタコトハ吾人ノ最近ニ實驗シタ所テアル。又支那ニ於テ容易ニ社會組織ノ確立シ得ナイコトモ、其支配者階

級カ有形無形ノ力ニ於テ甚シク缺ケテ居ルカラテナク、主トシテ彼等カ道德上ニ腐敗セルカ爲メ其有形無形ノ力カ人間社會ヲ支配スルノ實力トナルヲ得サルカラテアラウ。

今回ノ暴動カ國民思想ノ變遷ニ原因スル所少ナカラサルコトハ多數者ノ認ムル所トナツテ居ルヤウアルガ、世間或ハ國民思想ノ變遷ト云ヘハ直チニ社會主義的思想ノ勃興トカ、又ハ露西亞ノ革命思想ノ傳染トカラ聯想スル者カ少ナクナイ。果シテ此ノ如キ事實アリヤ否ヤハ今後ノ調査ヲ待ツテ知ルノ外ハナイガ、併シ吾人ノ憂トスヘキハ國民ニ新ナル理想ノ勃興セントスルコトテナク、上下共ニ腐敗シテ人生ヲ有意義ナラシムル所ノ理想ニ熱スルノ力ヲ失ヒ、其結果必然ニ共同生活組織ノ弛緩ヲ來タスコトアル。社會主義ノ行ハルル社會ニ於テモ萬人盡ク充分ノ智德ヲ具ヘ、以テ互ニ平等ニ自治スルニ至ルコトハ容易ニ望マレナイ。此ノ如キ社會ニ於テモ共同生活カ無秩序トナツテ人々其生ヲ樂シミ難キニ至ルコトヲ防クカ爲メニハ、是非トモ特ニ智德ノ秀テタ者カ多數ニ存在シ、民衆ノ信任ヲ受ケテ社會ヲ支配セネハナラス。吾人ハ我國ニ於テ社會的動搖ノ生スルコトヲ憂フルヨリモ、一層多ク上中層階級ノ腐敗スルコトヲ恐レサルヲ得ナイ。英米等ノ交戦諸國ニ於ケル上中層階級カ率先シテ國家ノ爲メニ生命財産ヲ捧ケ、其行動ノ模範的ヲアルト云フ事實ヲ見ルトキハ、此等先進諸國ノ社會組織ノ鞏固ニシテ健實ノ進歩ヲ爲シツツアル所以ヲ解スルニ難クナイ。

三 特種ノ社會問題

今回ノ暴動ハ獨リ大小諸都市ヤ鑛山ニ於テ行ハレシノミナラス、漁村農村ニ行ハレタ例モ少ナクナイ。故ニ此暴動ニハ汎ク各種ノ下層民カ參加シテ居ルノテアルガ、特種部落民ノ團集ノ住居セル諸都市ニ於テハ、彼等ノ暴動ニ參加セル割合カ著シク強イト云フコトテアリ、現ニ京都市ニ於ケル暴動ノ如キハ全然特種部落民ノミニ由テ行ハレタヤウテアル。此ノ如ク特種部落民カ暴動者トシテ重要ノ地位ヲ占メタコトカ實際テアルトスレハ、是レ必シモ彼等カ米價暴騰ニ由テ最モ甚シク窮迫セルカ爲メノミテハナク、寧ロ彼等ノ現代社會ニ對スル不懽カ特ニ強烈トナツテ居タカラテアラウ。特種部落民モ社會一般ノ進歩ニ伴フテ有形無形ニ進歩シツツアルガ、彼等カ進歩スルホド其ノ社會的地位ニ對シテ堪ヘ難キ不懽ヲ感スルコトハ當然テアル。彼等ノ現代社會ニ對スル不懽ナルモノハ決シテ一般下層民ノ不懽ノ如ク微温的ノモノテナイ。特種部落民問題ハ從來學問上ニモ餘リニ輕ク取扱ハレテ居ル。形式的ニハ彼等モ平等ノ人格者テアルガ、實際我國民ノ心理ニ於テ彼等ハ今尙ホ賤民テアル。吾々ハ心ノ内テハ今尙ホ奴隸解放ヲ行フテ居ラヌノテアル。是レ實ニ我國ノ文化ノ上ニ於テ最モ耻ツヘキ暗黒點テアル。今日社會政策ヲ論スル者ノ多クハ歐米ニ於ケルト同シク民衆ノ人格尊重ノ思想ヲ最後ノ根據トスルヤウテアルガ、此思想ヨリスレハ

吾々カ今尙ホ同胞ノ一都ヲ賤民視スルカ如キ醜惡ナル感情ヲ有スルコトヲ如何ニシテ矯正シ得ヘキヤノ問題カ最モ強ク念頭ニ浮ハチバナラヌ筈テアル。又實際ノ利害ヨリ云フモ吾々カ同胞ノ一部ヲ賤民トシテ虐待スレハ、吾々ハ必ラス當然ノ懲罰ヲ受ケネハナラス。今後我國ノ社會運動ヲ險惡ナラシムルニ最モ有力ナル原因ノ一ハ特種部落民ノ存在テアル。

今回ノ暴動ニ於テ内地ニ移住セル朝鮮勞動者ノ参加セル者カ少ナクナカツタト云フコトテアルガ、若シ此事ニシテ事實テアルトスルナラハ其理由ヲ發見スルニ難クナイ。近來朝鮮勞動者ノ來住カ大ニ増加シツツアルガ、佛獨等ニ於テ自國勞動者ハ主ニ高級ノ仕事ニ從事シ、農業、土工等ノ低級ノ力役ハ之ヲ伊奧露ノ外國勞動者ニ多ク行ハシメル勢アルト同シク、我國ニ於テモ今後朝鮮勞動者ノ來住カ増加シテ主ニ低級ノ力役ニ從事スルコトトナルカモ知レヌ。朝鮮勞動者來住問題ハ獨リ内地勞動者ニ對スル競争ノ點ヨリ研究ヲ要スルノミナラス、朝鮮勞動者保護ノ上ヨリモ大ニ研究ヲ要スル、近來朝鮮勞動者ト内地勞動者トノ衝突事件カ屢起ルノミナラス、言語不通土地不案内朝鮮勞動者ノ虐待ト窮迫トニ關スル報道カ屢新聞紙上ニ現ハルルニ至ツタ。今日朝鮮勞動者來住問題ノ研究ヲ怠ツタナラハ、今後新ナル特種部落民問題ヲ生スルノミナラス、朝鮮統治ノ上ニモ惡影響ヲ及ホスコトヲ免レナイ。